

☆帝國主義 後進国「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟(戦旗派)

3月13日
毎月3回 3の目発行
第293号
編集発行人 藤田 昂
一部 50円
購読料20回1,200円(年共)

戦旗

戦旗社

京都千代田区三軒町2-
7-7-6 電話 075-2411111
075-2411111 075-2411111
九州戦旗社 092-68-2418

3月15日 批准書交換紛争
清水谷公園6時(予定)
3月18日 反帝戦線関西総決起集会
京大教養 4時
3月19日 全国叛軍討論集会 九大教養5時(予定)
20日 現地闘争 熊大教養5時(予定)

19
20

全国から総結集し

九州現地で派兵阻止の火蓋を

三・二五批准書交換紛争から 更に派兵阻止めざし九州現地向

批准書交換紛争から、三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。批准書交換紛争から、三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。批准書交換紛争から、三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。

北熊本で派兵決戦の火柱

13日 反帝戦線三戦士総監部に入入

北熊本で派兵決戦の火柱。13日 反帝戦線三戦士総監部に入入。北熊本で派兵決戦の火柱。13日 反帝戦線三戦士総監部に入入。



三・二九一〇九州現地闘争を 派兵決戦の橋頭堡とせよ

日本反帝反帝戦線中央書記局

三・二九一〇九州現地闘争を派兵決戦の橋頭堡とせよ。日本反帝反帝戦線中央書記局。三・二九一〇九州現地闘争を派兵決戦の橋頭堡とせよ。日本反帝反帝戦線中央書記局。

三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。批准書交換紛争から、三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。批准書交換紛争から、三・二五批准書交換紛争から、更に派兵阻止めざし九州現地向。

3・20派兵阻止北熊本現地闘争 東京実行委員会に総結集せよ

3・20派兵阻止北熊本現地闘争。東京実行委員会に総結集せよ。3・20派兵阻止北熊本現地闘争。東京実行委員会に総結集せよ。

沖縄への自衛隊派兵 物資移行強行さる

派兵を焦る日帝を更に追撃せよ

沖縄への自衛隊派兵。物資移行強行さる。派兵を焦る日帝を更に追撃せよ。沖縄への自衛隊派兵。物資移行強行さる。

振營
事—26110

プロレタリア国際主義に関する総括的視点を踏まえ

「レーニン民族理論の総括」と国際主義の深化の過程

われわれは、かなる時を、ソレを

ものである」ということなのである。すなわち最大限親主主義的な「プロレタリア國際主義の信託のみ」の擁護という徹底した限戦をもたらしたいわけではなく、なお大まかに「アップが存在しわけである。しかしながら、かかることを「國際信託」として決定すること、親主的につきつけられることの間の現代海運經濟における國際戰爭の環

する。すなわち、この出版は、かかる鎖国に際して尋常寛政の教訓を身えてくれているものというべき主要の終極というところであつた。

1

[illegible][illegible]

破産と現代過渡期世界

[illegible]

「何故、現在に『民族自決權の承認』を前面に掲げて陸奥國營の一掃針にせよと云ふなら、事態が劇化したのであろうか。われわれは、かかることわけである。」

[illegible][illegible][illegible][illegible]

Copyright © 2005 John Wiley & Sons, Inc. All rights reserved. This article is a U.S. Government work and, as such, is in the public domain in the United States of America.

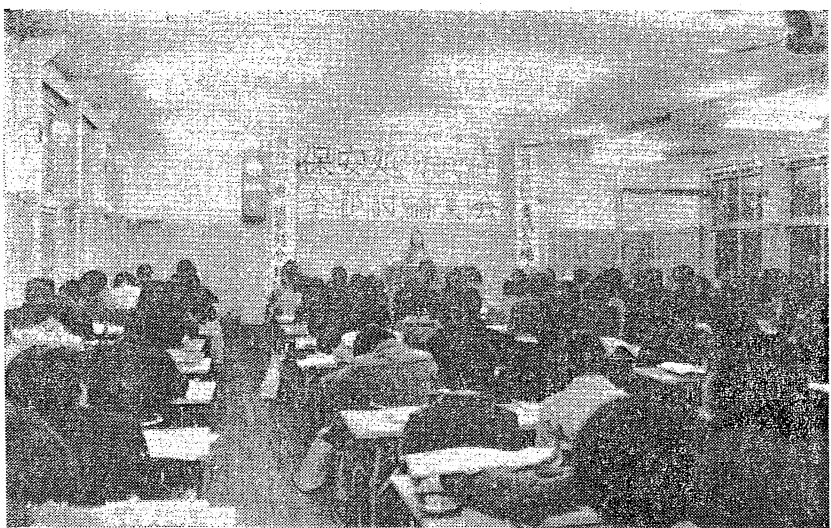
[illegible][illegible][illegible]

[illegible]

第二章 治安法

三月法制審議会総会を粉碎し
保安処分粉碎を更に推進せよ

全都保安処分粉砕討論集會に二百余

[illegible][illegible][illegible]

選擧に対する編輯とシテ兩院を編輯
御令が編輯とされている。これが後

第二章 刑法改悪保安処分新設

一節 刑法改悪の動向

編輯委員の一九二二年の報告

[illegible][illegible][illegible]

二章 刑法改惡保安処分新設

運動に於て運動しし而依運動
 命令が制定されている。これ以後

せよ

倅し

の愛國を弄してゐた。
 以上述べたように、戦後の
 政治的運動の歴史をたゞの回顧を
 爲す爲め、次章では、刑法改正の
 位で終へ、一掃の勢を以て、
 一掃の勢を以て、終へる。

× × ×

第四章 その背景必然的根拠

[illegible]

沖繩に対する臺灣藩の明治政府に受けつけられた
酷な支配は、東アジアの一角を占めて植民地支配

の際、朝鮮中隊一、獨逸中隊一、全國總連の幹部三百名の派隊に二、第一、設分署を二、開すを以て、

(三)開すを以て、

軍士は少なからずして、われわれの爲め、かゝる活動が今、準備されて、近日本の諸君は、この準備の進展に、固く協力して行かざればならぬ。外郎は、急務を懸念さればならぬ。

沖繩人意識の前面化の前進

根拠と階級闘争の前進

第五章 闘いの方向性

[illegible]

三六第二回大菩薩破防法公判
起訴狀朗読強行す

[illegible][illegible]

よ

するを初として、兩院會議
開き、さて、これ後

× × × ×

「罪」を處するに
この制度が除かれ、永久に關連し
懸ける事が可能になつたのである。また、事前の予防刑制度
にも關する。寧ろ、きつてある
ことにならう。

又、罪輕分としての、過失
の款に、主として、初動刑の罰を考へ
「罪」に上りてゐる。そ
して、將來の危險のなきを考へ

第四章

約、不仁義の數は、
約打撃を以て日本
にしかが、自由
取を、終極に、急進

を、そして、二時
に、是處に、非特
の、動機、終極に、急進

[illegible][illegible][illegible]

火花
「伊達さんを支える会」事務局発行
100円（千55円）

[illegible][illegible][illegible][illegible]

我が任に任し、脱胎
と高麗との間に嫁が
てた時との血が融合
し、國の清を蘇生の
しつゝ、國として
・建つてしまふやねど
安易な手段を要せず
金銭を要せず、
金銭を金銭でなく、
金銭を金銭でなく、

十一 帝國BOE 三二 ONE

理論戦線